アンケート調査実施概要について

1 調査の目的

保護者や市民の考え方・意識を把握し、「上山市みらいの学校構想」策定に関する方向性等の検討等、検討委員会での議論を充実させるため、アンケート調査を実施するもの

2 実施方法

(1) 調査対象 下記①～⑤の児童・生徒の保護者、市民

①市内 保育園・認定こども園	550 名	②市外 保育園・認定こども園	44 名
③施設を利用していない未就学児	55 名	④市内小学校	1,023 名
⑤市内中学校	569 名	計	2,241 名 (R6. 12. 1 時点)

(2) 調査方法

①～③未就学児 郵送で依頼文（2次元コード付）を配付。インターネット回答

④・⑤就学児 施設・学校経由で依頼文（2次元コード付）を配付。インターネット回答

※市民については、市報2月号・市ホームページで周知。インターネット回答

(3) 調査期間 令和7年2月上旬～下旬を予定

(4) 集計分析 令和7年3月中

3 アンケート内容

(1) 情報提供（検討委員会・意見交換会の内容から抜粋、HP 公開情報もリンクで周知）

① 少子高齢化、小・中学校の児童・生徒数の推移

② 新時代の動向（VUCA 時代、新時代の学校施設） 等

(2) 調査項目

区分	設問内容	設問目的
回答者の属性 (無記名)	性別	回答者の属性把握 分析のための基礎項目
	年代	
	居住している学区地区	
	子の通園・通学している施設区分	
少子化の影響・課題 の認識	影響・課題の認識とその内容	影響・課題の認識の有無 認識有の場合▶内容把握
教育内容・ソフト	学校教育で大事だと思うもの 魅力ある学校に必要なもの	諮問 1
学校施設・ハード	時代に対応した教育環境に必要なもの	諮問 2
適正規模・適正配置	望ましいと思う1学年の学級数と理由	適正規模・適正配置に関 する意向把握
	〃 1学級の人数と理由	
	〃 学校数と理由	
	小中一貫教育の在り方について	
みらいの学校のあり 方への提案・意見	自由記述	設問以外の意向把握